

世界に羽ばたく
科学系人材の育成!

小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第6号 H28年2月
編集 : SSH推進委員会
発行責任者 : 太田淳子

小松高校 - 韓国大田科学高校

韓国科学交流



12月13日(日)～16日(水)の3泊4日の行程で、本校から理数科2年生21名、普通科2年生1名、校長と引率教諭2名が、韓国大田(テジョ)科学高校との科学交流を行いました。

《 日程 》	
13日	小松高校 → 韓国・大田市へ (大田市泊)
14日	大田科学高校にて科学交流(課題研究発表、共同研究発表など) 韓国先端科学技術大学(KAIST)、韓国電子通信研究院(ETRI)で研修 (大田市泊)
15日	大田市 → ソウル市へ 国立果川科学館で研修 (ソウル市泊)
16日	ソウル市 → 小松高校へ

— 13日(日) —

10:00に小松空港に集合し、飛行機、バスなどを乗り継いで18:00に韓国・大田市に到着、大田科学高校の生徒、教職員の方々の歓迎を受けました。その後、みんなそろって夕食を食べました。夜にはホテルで、明日の大田科学高校での発表に向けての最後の練習を念入りに行いました。

— 14日(月) —

午前、大田科学高校で科学交流を行い、課題研究「食虫植物はどうやってエサだと認識するのか」と「日付による解答者決定法」の発表を行いました。また、大田科学高校の生徒による研究発表も行われました。午後は、大田科学高校の生徒といっしょにKAISTやETRIを見学し、研究の様子や情報通信などについての講義を受けました。夜には大田科学高校による夕食を兼ねた交流会が開かれ、さらに親睦を深めました。



課題研究発表



大田科学高校の発表



KAIST



ETRI

— 15日(火) —

大田科学高校に別れを告げ、韓国高速鉄道(KTX)で大田駅を出発してソウル駅に向かいました。その後、国立果川科学館を訪問しました。生徒たちは1年生の時に訪問した日本科学未来館と比較しながら展示物を見学しました。

国立果川科学館 →



— 16日(水) —

早朝6:00にソウル市内のホテルを出発し、仁川空港から小松空港を経て、12:00に無事小松高校に帰ってきました。

平成27年度SSH研究発表会

1月27日(水)、本年度のSSH研究発表会を開催しました。今回は午前には普通科1年生の「英語表現Ⅰ」、理数科1年生の「総合科学(物理分野・生物分野)」の公開授業、午後には理数科2年生の「課題研究ポスター発表会」、研究協議会、運営指導委員会を行いました。当日は県内外の高校の先生方及び科学技術振興機構、運営指導委員の先生方などに多数ご来場いただき、有意義な1日となりました。



英語表現Ⅰ
「Presentation & Discussion」



総合科学(物理)
「コーヒーフィルタの落下運動
についての探究」



総合科学(生物)
「課題研究基礎講座」



**課題研究
ポスター発表**

SSH特別講義（ときめき理数科学・理数地学）

2月8日(月)に高エネルギー加速器研究機構名誉教授の佐藤皓先生が来校され、1年理数科対象に特別講義「宇宙のはじまり、ビッグバンと加速器」をしていただきました。

2月16日(火)には福井県立恐竜博物館主任研究員の寺田和雄先生が来校され、1年理数科対象に出前授業「なぜ、なんのために、生きる(勉強する)のか～夢を持ち続けることの意義～」をしていただきました。



佐藤先生



寺田先生

石川県中学高校生徒研究発表会（生物・物理・化学）

12月12日(土)に金沢伏見高校で石川高校生物のつどいが行われ、本校からは生物部の生徒が参加し、生物部の活動についての発表を行いました。

12月13日(日)に金沢泉丘高校で石川県中学高校生徒物理研究発表会が行われ、本校からは課題研究で物理分野の研究をした「ビンから液体を注ぐ時に出るトクトク音について」のグループが参加し発表を行いました。

12月23日(水・祝)に石川県教育・自治会館で石川地区中学高校生徒化学研究発表会が行われ、本校からは課題研究で化学分野の研究をした「陶芸における焼成前後の釉薬の発色について」のグループが参加し発表を行いました。

日本地学オリンピック・日本数学オリンピック

12月20日(日)、金沢大学角間キャンパスにて日本地学オリンピックの予選(国内一次選抜)がおこなわれました。本校からは、今年度は2年生1名が参加し難問に挑戦しました。

1月11日(月・祝)、石川県勤労者福祉文化会館にて日本数学オリンピックの第1次予選がおこなわれました。本校からは、今年度は1年生2名、2年生3名が参加し難問に挑戦しました。全員集中して全力を尽くし、1名が地区表彰賞を受賞しました。